

# カリキュラム

A. 生産管理	工程管理	<b>生産計画と工程管理</b>
---------	------	------------------

コースのねらい	多品種少量化や短納期化など、顧客の多様なニーズに適した生産計画の策定を目指して、工程管理に必要な視点、生産計画・統制への柔軟な取り組み方について理解し、自社の納期管理を見直していくためのポイントを習得する。
---------	---

講義内容	「基本項目」	「主な内容」	訓練時間 (H)
講義内容	工程管理の考え方	(1) 工程管理の目的 目的とするQCDを維持するために、5Mを管理し統制する必要性を理解する。 (2) 工程管理の手法 (1) 作業者の管理(動作分析による改善、教育訓練) (2) 設備の管理(稼働率向上、段取り時間の削減) (3) 部品の管理(工程能力の改善) (4) 作業方法の管理(作業手順の作成、改善) (5) 監視、測定、評価 (3) 工程管理表の種類 ガントチャートの他、ネットワーク工程表など、目的に合わせた工程管理表を紹介する。 (4) 工程管理の実施のポイント 工程管理のPDCA(工程計画、作業実行、検証と改善)に沿ってポイントを把握する。	2.0
	生産計画の立案と作成手順	(1) 生産計画の目的 生産計画の目的は、生産性向上と納期管理であることを理解する。 (2) 受注生産と見込み生産 受注生産と見込み生産の違いを把握し、それぞれの生産計画の特徴と管理ポイントを理解する。 (3) 需要予測に基づく生産計画 見込み生産における需要予測の手法を把握し、それに基づく生産計画の立て方と管理ポイント(予測からのずれと修正方法)を理解する。 (4) 生産能力に合わせた負荷計画 生産能力を把握し、負荷を平準化する方法を学ぶ。 (5) 在庫管理と生産リードタイムの関係 生産リードタイムを短縮することで、在庫量(部品、仕掛品、製品)は少なくすることができることについて理解する。 【演習】グループワーク 自職場の生産管理課題と改善策についてディスカッション (6) 納期遅延への対応策の検討 ①クリティカルパスを用いた納期管理 ②遅延発生時の計画修正への意思決定 ③ボトルネック工程の改善 (7) 多品種少量生産の課題と対策 生産の段取り替え等によるコストの増加・生産性の悪化への対策とは	4.0
<b>合計時間</b>			6.0

カリキュラム作成のポイント
本コースを受講する社員層は、中堅クラス、管理・監督者層も想定し、生産計画と工程管理に関する基礎知識を押え、顧客からの多品種少量化や短納期化等の要請に対する取り組みを進めるための基本スキルを中心に作成しています。

講師から一言
生産計画と工程管理に関する基礎知識を押え、顧客からの多品種少量化や短納期化等の要請に対する取り組みを進めるための基本スキルを学びます。